



# 2011年3月期第2四半期 決算説明

2010年11月9日



## ＜本日の内容＞

1. 2011年3月期(2010年度)第2四半期決算概要
2. 2011年3月期(2010年度)通期業績見通し
3. 中期経営計画達成に向けて  
～重点施策の進捗状況～



# 1. 2011年3月期(2010年度)第2四半期 決算概要

## 2010年度第2四半期 決算のポイント

### ■前年同期比 増収増益

売上金額、売上数量(個別)ともに前年同期比20%超の増

営業利益は、前年同期比128億円改善

- ・液晶・半導体製造装置等設備投資が堅調 厚板需要が急回復
- ・各種インセンティブ政策が奏効し、自動車、電機等主力産業も堅調
- ・記録的な猛暑効果により缶材についても好調に推移
- ・押出製品も堅調に推移

### ■資産除去債務に関する会計基準適用

- ・特別損失を第1四半期に7億1千万円計上

### ■中間配当 3円



## 2010年度上期連結業績(対前年同期)

(単位:億円)

	09年度上期 (A)	10年度上期		増減 (B) - (A)	
		10年度1Q	10年度2Q		
売上高	854	549	511	1,060	206
営業利益 又は営業損失	▲57	44	27	71	128
経常利益 又は経常損失	▲64	41	27	68	132
当期純利益 又は当期純損失	▲85	28	26	54	139
数量(個別;千t)	181	116	107	222	41

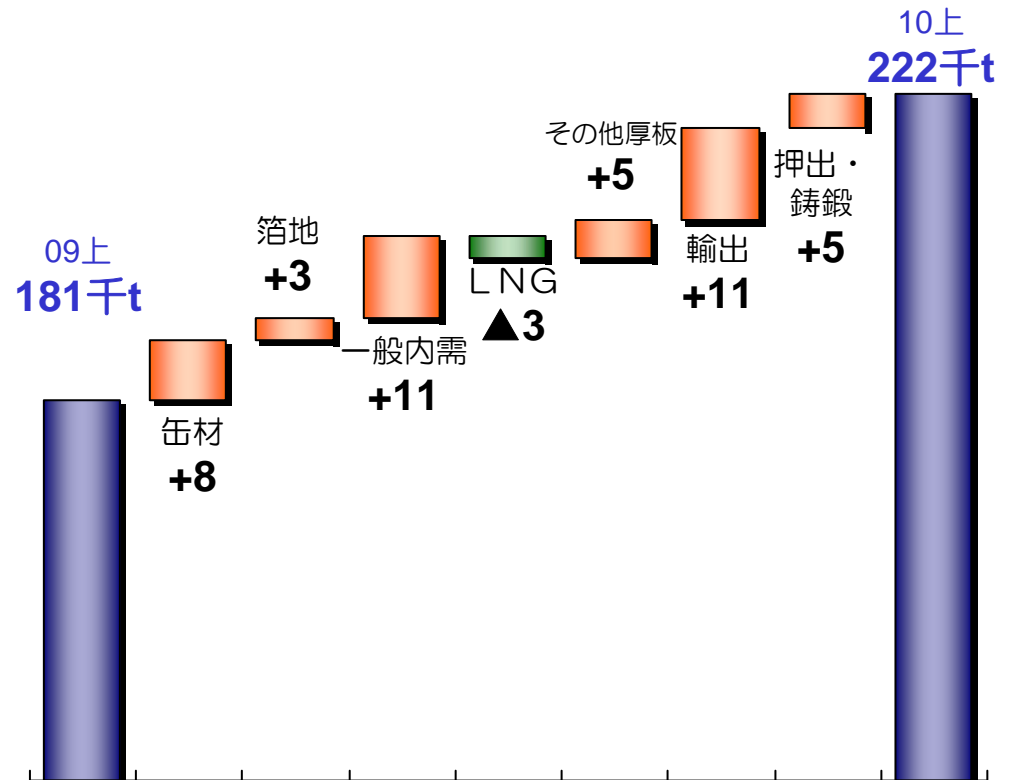


## 2010年度上期 品種別売上数量比較 (個別; 対前年度)

(単位: 千t)

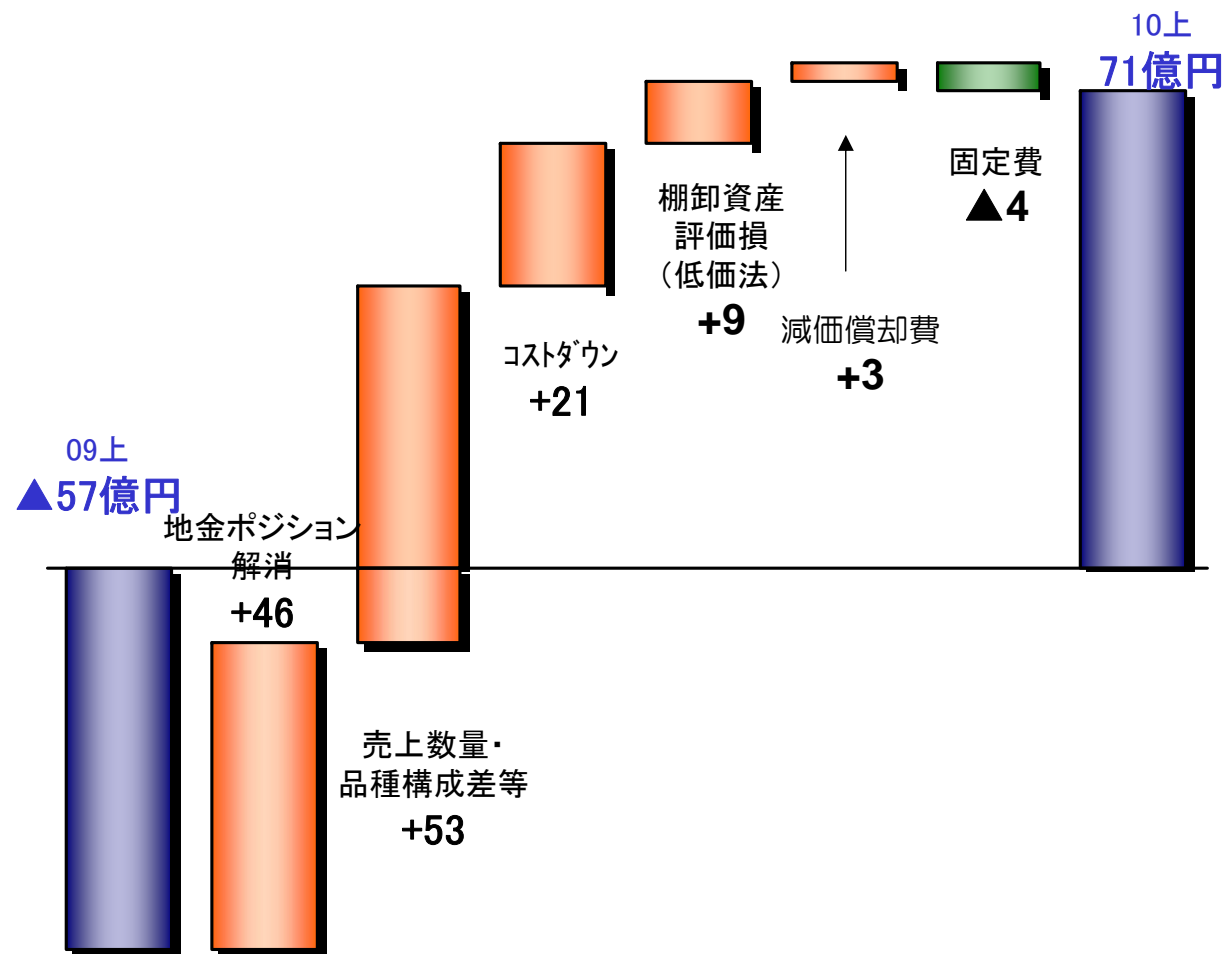
品 種		09上	10上
板	缶 材	60	68
	箔 地	16	19
	一 般 内 需	52	63
類	厚 板		
	LNG	3	0
	その他	8	13
	輸 出	28	39
	計	167	203
	押 出 計	14	19
	鋳 鍛 計	1	1
	総 合 計	181	222

10年度上期売上数量増減内訳(対前年度+41千t)



# 連結営業利益分析 (09年度上期→10年度上期)

09年度上期→10年度上期連結営業利益 増減内訳 (128億円)





## 連結貸借対照表

(単位:億円)

	10/3末	10/9末	増減
<b>流動資産</b>	<b>892</b>	<b>976</b>	<b>83</b>
現金・預金	42	34	▲8
受取手形・ 売掛金	583	598	15
棚卸資産	210	228	18
その他	58	115	57
<b>固定資産</b>	<b>1,109</b>	<b>1,062</b>	<b>▲47</b>
有形・無形固定資産	1,002	950	▲52
投資その他の資産	107	112	5
<b>資産合計</b>	<b>2,002</b>	<b>2,038</b>	<b>36</b>

	10/3末	10/9末	増減
<b>流動負債</b>	<b>857</b>	<b>862</b>	<b>5</b>
仕入債務	518	509	▲10
短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	328	335	7
その他	11	19	8
<b>固定負債</b>	<b>549</b>	<b>538</b>	<b>▲11</b>
長期借入金・社債	404	393	▲11
その他	145	145	0
<b>株主資本等</b>	<b>591</b>	<b>634</b>	<b>42</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>0</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,002</b>	<b>2,038</b>	<b>36</b>
<b>有利子負債残高</b>	<b>732</b>	<b>727</b>	<b>▲5</b>





## 連結主要経営指標

	10/3末	10/9末
売上高営業利益率	0.3%	6.7%
自己資本比率	29.5%	31.1%
D / E レシオ	1.2	1.1

(ご参考)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

D/Eレシオ＝有利子負債残高(期末)／〔純資産(期末)－少数株主持分(期末)〕



## 2. 2011年3月期(2010年度)通期業績見通し



## 2010年度通期業績見通しのポイント

- 8/5時点の業績見通しに変更なし
- 下期売上数量について、景気対策効果の減少等による下振れ要因は期初時点で織込み済み
- 円高の継続は、輸出製品の売上高減少という点で若干影響が出る見込みだが、輸入購買費用の減少分とで相殺されるため、ほとんど影響なし



# 2010年度連結業績見通し

(単位:億円)

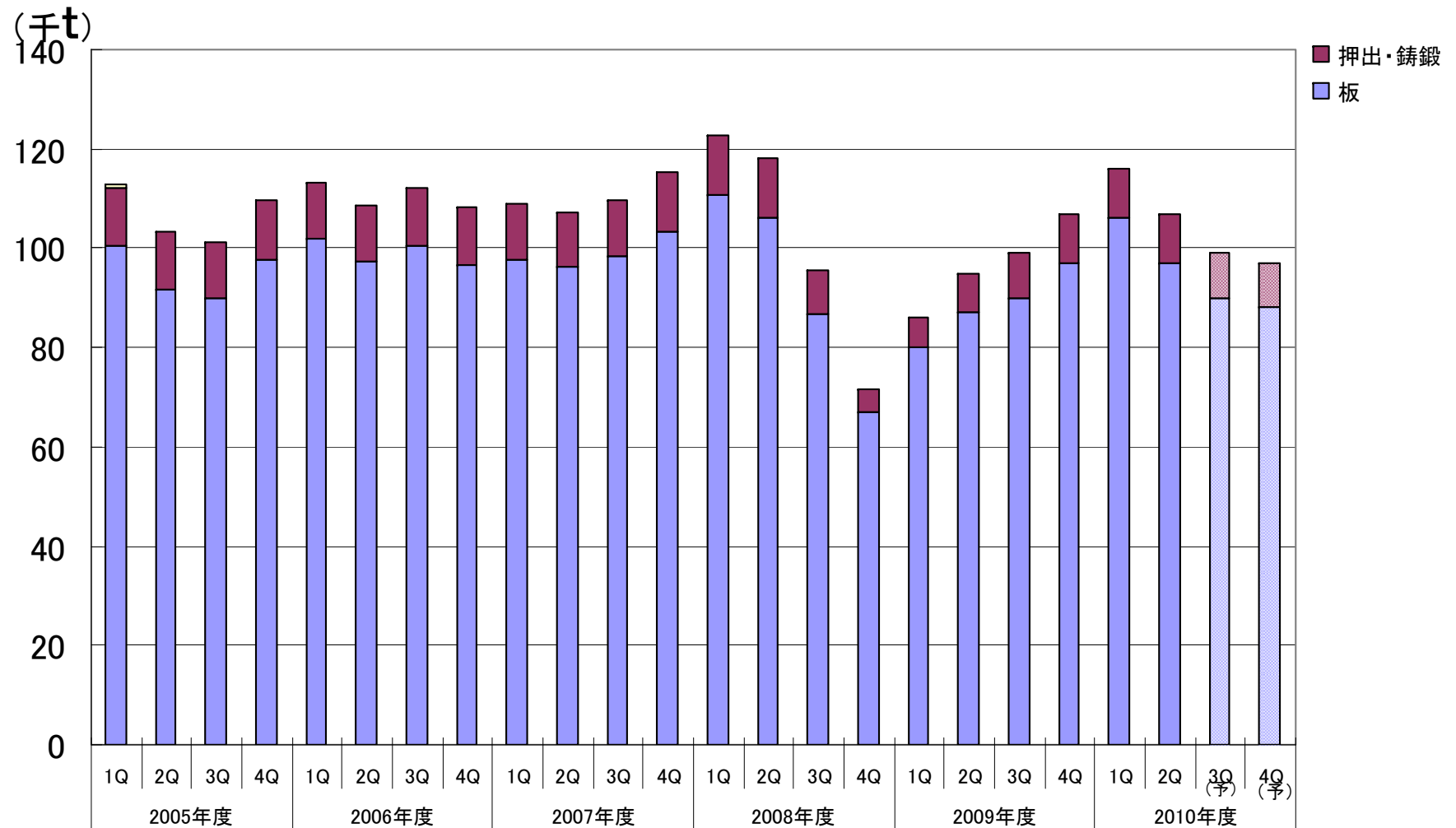
	09年度 (A)		10年度見通し (B)			増減 (B) - (A)	
	上期	下期	上期	下期			
売上高	1,856	854	1,002	2,000	1,060	940	144
営業利益	6	▲57	63	110	71	39	104
経常利益	▲7	▲64	58	101	68	33	108
当期純利益	▲8	▲84	77	84	54	30	92
数量(個別;千t)	388	181	207	417	222	195	29

諸元 (期初) ; 原油(WTI) 80US\$/B, アルミ地金 230円/kg, 為替 90円/US\$  
 (下期) ; 原油(WTI) 80US\$/B, アルミ地金 235円/kg, 為替 82円/US\$





## 数量推移 (2005年度～2010年度見通し)





# 2010年度 品種別売上数量見通し

(単位:千t)

品 種		09			10			
		上	下	上	下			
板	缶 材	113	60	53	120	68	52	
	箔 地	33	16	17	36	19	17	
	一 般 需 内	115	52	62	122	63	59	
類	厚 板	L N G	5	3	2	2	0	2
		そ の 他	21	8	13	22	13	9
	輸 出	69	28	40	79	39	40	
計		355	167	188	381	203	178	
押 出 計		32	14	18	35	19	16	
鋳 鍛 計		2	1	1	2	1	1	
総 合 計		388	181	207	417	222	195	



### 3. 中期経営計画達成に向けて ～重点施策の進捗状況～





## ■ 板事業構造改革

＜需要構造の変化に則した体質の強化＞

**日光工場**

- 上流工程  
( 鋳造～熱間 圧延 ) の休止
- 仕上専用工場化



(進捗状況)

- 顧客評価計画通りに進捗
- 一部製品の量産化を前倒しして実施

**カラーアルミ事業**

- 深谷工場への生産移管
- 古河カラーアルミ(株)縮小



- 2009年度に完了



**利益貢献**

2012年度 9億円  
2013年度～ 30億円



## ■ 伸びる事業分野への対応強化

### ① 事業体制の整備

#### <箔事業強化に向けての体制構築>

- 日本製箔100%子会社化
- 箔事業部新設

日本製箔(株)への経営資源の投入  
人材交流の促進



グループ経営体制の構築・強化  
研究開発の体制強化

#### <伸びるマーケットへの対応力強化>

- 研究開発体制の改革 .. 技術研究所 製品開発部新設
- 自動車分野への対応強化 .. 自動車材営業部新設
- 電池分野への対応強化 .. 電池プロジェクト新設



## ■ 伸びる事業分野への対応強化

### ② 電池関連製品

< 車載用LiB電池分野強化 >

#### 既存製品の拡販

電池外装材用アルミ箔

集電体正極用アルミ箔

集電体負極用銅箔



#### 次世代製品の開発・上市

カーボンコートアルミ箔

高性能集電体正極用アルミ箔

高性能集電体負極用銅箔

※素材からの一貫開発

※グループ資源有効活用



## ■ 伸びる事業分野への対応強化

### ③ ブランド力強化

＜伸びる市場・分野での認知度向上＞

各種グローバルな展示会へ積極的に出展

- 10年3月 国際二次電池展
- 10年6月 ALUMINIUM CHINA 2010（中国・上海）
- 10年9月 ALUMINUM 2010（ドイツ・エッセン）



当社認知度向上



新規顧客の開拓  
グローバルな事業展開へ

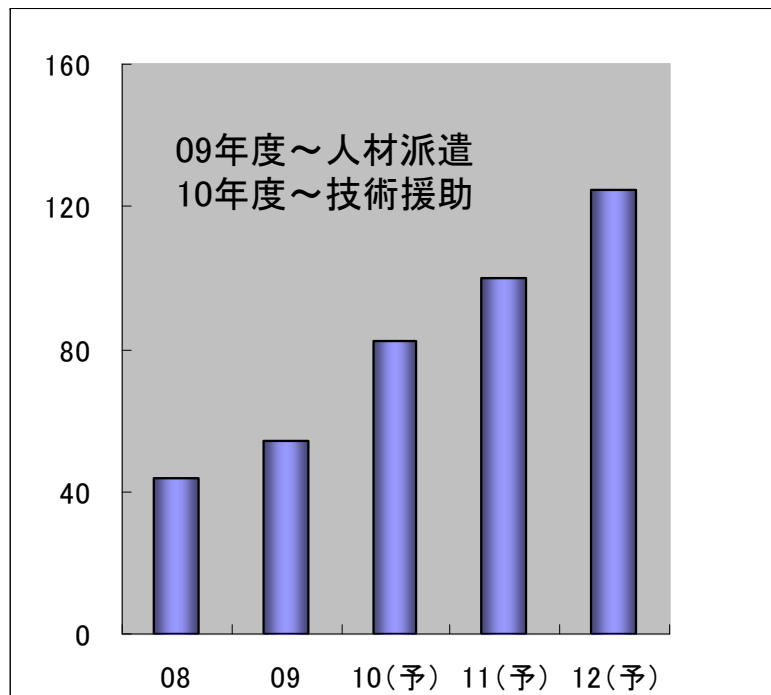


# ■ グローバル成長市場への対応

## ① 新規投資先の利益貢献拡大

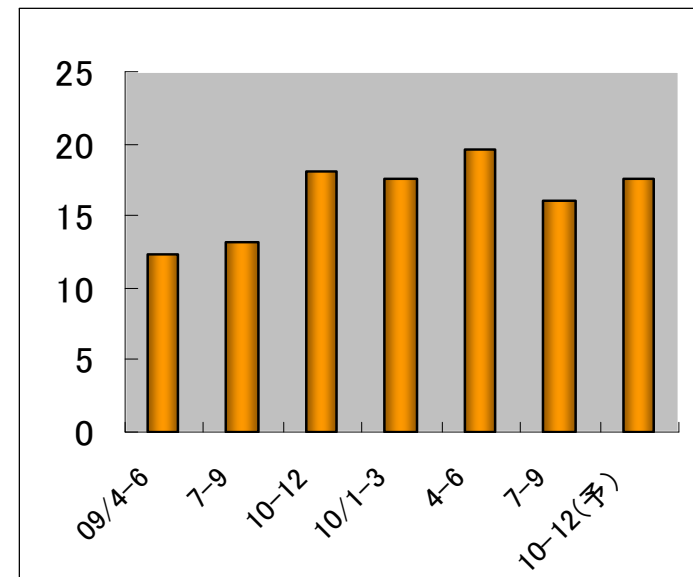
**乳源東陽光精箔有限公司**  
**韶関市陽之光鋁箔有限公司 (中国)**  
 自動車熱交換器用板材

売上数量の推移 (千t)



**Bridgnorth Aluminium Ltd.**  
 (イギリス) 印刷板

売上数量の推移 (千t)

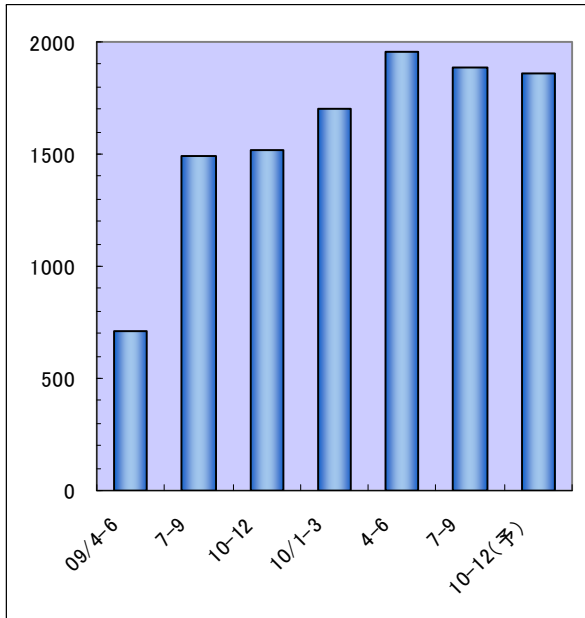


# ■ グローバル成長市場への対応

## ② 既存事業拠点の状況

**Furukawa-Sky Aluminum  
(Vietnam) Inc. (ベトナム)**  
ターボチャージャー用コンプレッサーホイール

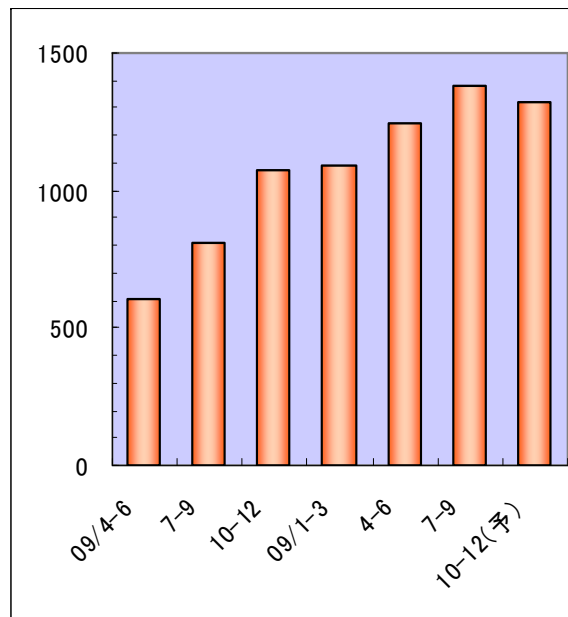
売上数量の推移 (千個)



- ・世界シェアトップ(当社推定)
- ・拡大投資検討

**PT.Furukawa Indal Aluminum  
(インドネシア)**  
自動車熱交換器用押出材

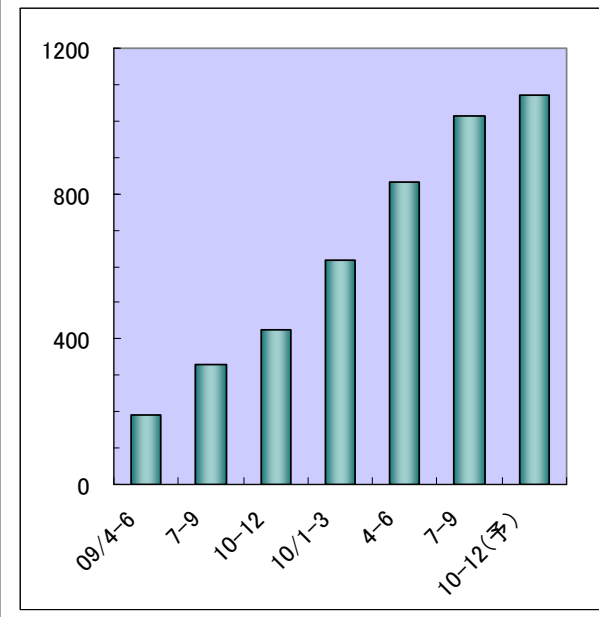
売上数量の推移 (t)



- ・3ライン フル生産
- ・品種拡大

**古河(天津)精密鋁業有限公司  
(中国)**  
自動車熱交換器用押出材

売上数量の推移 (t)



- ・営業利益の黒字化定着
- ・フル生産のため拡大投資検討



## ■ グローバル成長市場への対応

### ③ 海外拠点の拡大

＜伸びる市場・地域への拠点設置＞

**古河スカイ(株) 欧州事務所** ； ドイツ(デュッセルドルフ)

10年9月設立。欧州第3の拠点として、自動車熱交材、印刷板を中心とした情報収集を図る。

**古河斯凱(上海)鋁材有限公司** ； 中国(上海) 販売会社

10年9月設立。自動車熱交材を中心に、乳源／陽之光材、当社輸出材を拡販。

**FURUKAWA-SKY ALUMINUM(THAILAND) CO.,LTD.** ；

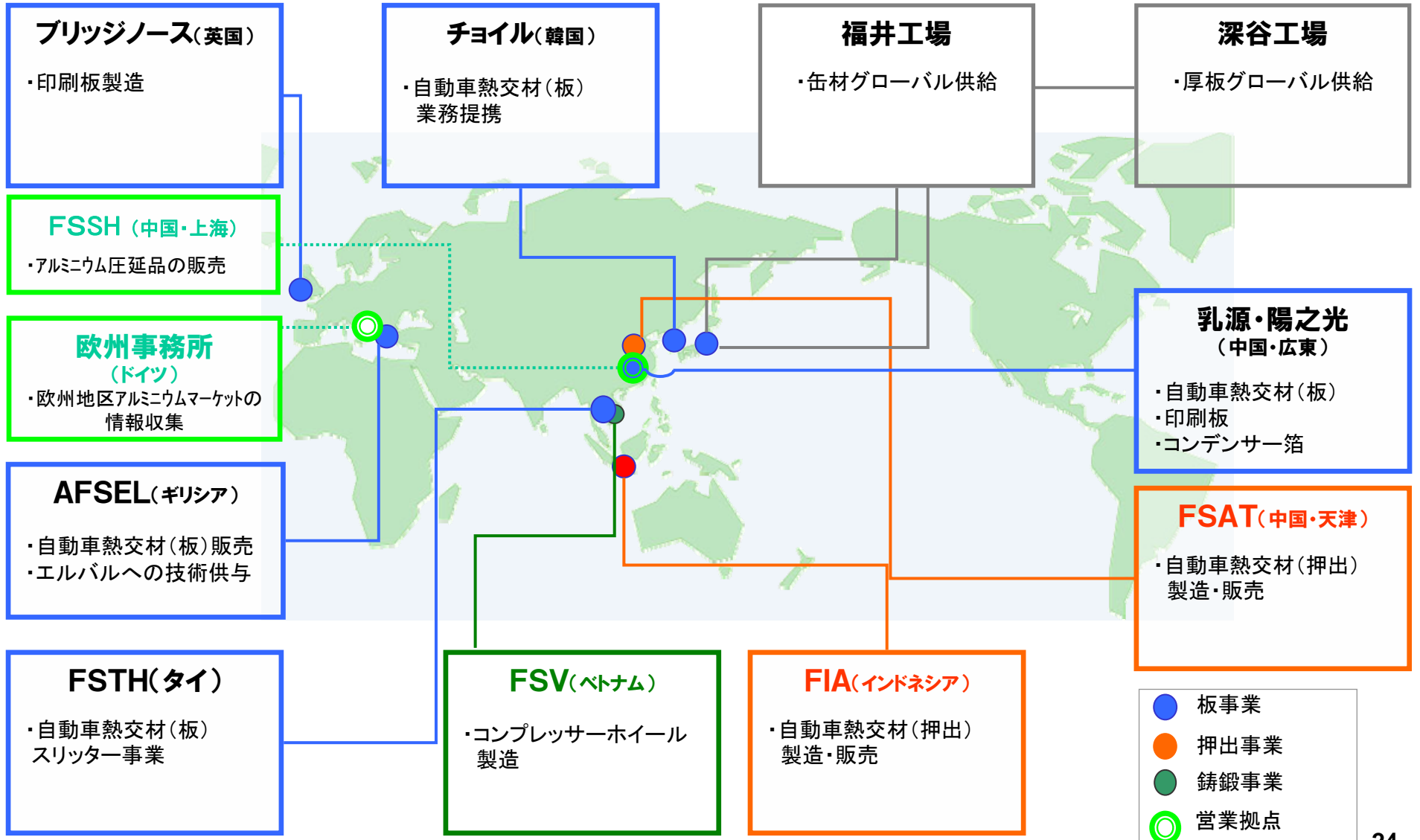
タイ(バンコク近郊) 圧延品の加工・販売会社

10年8月建屋完成、現在スリッター設備試運転中。12月より、東南アジア・インドへの自動車熱交材供給基地として稼動。



# ■ グローバル成長市場への対応

## ④ ネットワーク体制







### ■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

### ■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

### ■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3800 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>  
(東証1部 コード番号:5741)